

特別経費(プロジェクト分)

継続(平成23年度～平成27年度 5年間)

ICTを活用した地域実践型口腔保健教育による高度専門職業人の育成
 — 口腔保健を基盤とした健康増進と疾病・介護予防の徳島モデルの構築 —

25年度概算要求額 33,000千円
 (事業実施経費総額 138,000千円)

事業概要

健康増進と疾病・介護予防のための包括ケア地域ICTシステムを構築し、平成23年度開設(予定)の口腔保健学専攻(修士課程)における課題研究演習(修士論文研究)等において地域実践型教育・研究を展開し、ICTを駆使して口腔保健業務を担うことができる高度専門職業人を育成する。

目的及び重要性

生活習慣病の予防・改善および介護予防・要介護状態の改善は健康長寿社会実現のための喫緊の課題であり、超高齢先進県であり糖尿病死亡率ワースト県である徳島県における最重要課題である。
 口腔ケアは生活習慣病の予防や介護予防に密接に関連し、とりわけ学童期の食・歯磨きなどの生活習慣獲得および高齢期の摂食・嚥下支援などライフステージに応じた口腔ケアが重要である。
 人々に行動変容を起こさせる口腔ケア支援体制が必要であり、システム整備とこれを担う人材育成が求められており、徳島地域にモデルシステムを構築し、検証して、全国に発信していく必要がある。

事業の内容

本プロジェクトの特徴(独創性・新規性)

- ライフステージに応じたICT活用の効果的口腔ケア支援システムの構築
- 最新かつ簡便な入力端末の利用と、健康情報に関するアプリケーションの開発
- 福祉・口腔保健先進国フィンランドの大学との進行中の共同研究と連動したシステム構築
- 口腔保健を基盤とする健康増進と疾病・介護予防に関する徳島発のモデル構築
- 修士課程における実践的な教育・研究ツールとして本システムを活用しICT能力に長けた口腔保健高度専門職業人を育成する。

中期目標との整合性

徳島大学 中期計画3その他の目標を達成するための措置(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置の内、地域ICT化の推進、地域連携教育などに沿ったものである。



介護予防

健康長寿
モデル地域

徳島から全国へ

健康長寿
社会

生活習慣病予防

ICTに長けた高度専門職業人の育成

デジタル健康手帳
(正しい生活習慣の獲得)

包括ケア地域ICTシステム
徳島モデルの構築

遠隔口腔保健業務支援システム
(摂食・嚥下支援)

課題研究演習

修士課程の地域実践型教育・研究
(学校・高齢者施設)

口腔保健と全身の健康に関する研究

事業達成による波及効果等

【学問的効果】

- 他分野と連携し口腔保健活動を実践する本システムは、口腔保健学を保健・医療・福祉にまたがる広い学問体系として修得することを可能とする。
- 口腔保健と全身の健康に関連する経年的データを収集・解析することで、口腔保健学に関するエビデンスが集積でき、口腔保健学の学問体系確立に寄与できる。

【社会的効果】

- 包括ケア地域ICTシステムは、口腔保健活動を効率的に展開でき生活習慣病と要介護度の悪化を予防し医療費を抑制する。
- 遠隔口腔保健業務支援システムは、歯科衛生士の口腔保健業務を支援し、要介護高齢者の口腔ケアを充実させる。(就職支援に繋がる)
- ICTに長じた口腔保健分野の高度専門職業人を育成し、健康長寿社会実現の担い手として社会に送り出す。
- ICTシステムの特徴を生かして、本事業の社会的効果等の数値化、可視化を図り、多面的な数値データの比較を可能とする。

包括ケア型地域 ICT システム

あらゆるライフステージにおける“口腔保健を基盤とした健康増進・疾病予防”の推進を支援するためのコンピュータ・ネットワークシステム

学校歯科保健支援システム

歯科医
歯科衛生士



歯科健診結果の電子化

- ・集計作業の電子化
- ・結果通知の電子作成
- … 作業の負担軽減



養護教諭



学童

保護者



健康(健口)教育の支援



現場での結果入力

クラウドサーバー

- ・データの一元管理
- ・収集データの利活用

インターネットによる接続



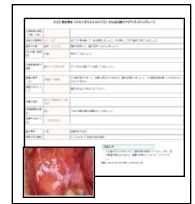
口腔保健業務支援システム

歯科衛生士



口腔ケア情報の電子化

- 指導書の電子作成
- … 作業の負担軽減



入所者情報の職種間での共有



施設職員

指導書に基づく継続的口腔ケアの提供


口腔ケアの質の向上



介護施設入所者

ICTを活用した地域実践型口腔保健教育による高度専門職業人の育成 ロードマップ

徳島大学

 : マイルストーン

